

【「読むこと」(説明的文章)】学習指導案

第1学年国語科学習指導案

指導者 観音寺市立中部中学校 西山 亮平

1 単元名 広告の見方を考えよう

「ニュースの見方を考えよう」 (新しい国語 1 東京書籍)
「自作広告」

2 単元について

- (1) 「ニュースの見方を考えよう」は、池上彰氏がニュースとはどのようにして作られ、どのようにして見たらよいのかを説明している文章である。誰しもが信じてしまいそうであるニュースについて、客観的に見る必要があると自身の主張を強く述べている。氏は分かりやすい説明の仕方で有名な人物であり、様々なメディアに出演している。本文章でも、氏の分かりやすい文章構成になっているが、それは氏の様々な文章の工夫によるところが大きい。その一つとして、具体と抽象の構造があげられる。文章中に数多くあげられている具体例が抽象的な考えと対応していることが分かる。抽象的な考えを導くために、どのような具体を例として示しているのかに着目させて読ませたい。

この活動は、学習指導要領の〔思考・判断・表現〕における「C 読むこと」の指導事項「エ 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えること」と関連する。文章における主張の導き方に注目をして読むことで、根拠の必然性に気づき、言葉にこだわって説明的文章を読む意欲につながるであろう。また現代社会において「Chat GPT」等のAIが今後、様々な場面で扱われるようになっていく。学校においても学習のICT化の普及が進み、情報を見極める力が必要になってくることは言うまでもない。自作広告を用いて、どのような意図が込められているのか具体的に着目して考えさせたい。

- (2) 本学級は、男子17名、女子17名の計34名で構成されている。1学期末に実施したアンケート調査によると、国語が好きと答えた生徒は全体の70%であり肯定的な意見が多い。また国語が嫌いな人の理由は、「文章を読むのが苦手」、「将来何の役に立つのかが分からない」などであり、一番嫌いなジャンルは説明的文章が多かった。国語を学ぶ上で何を習得しこれからの生活にどのように生かされるのか具体的に想像できていない生徒が多い。

また、生徒がスマートフォンを所持している割合は90%以上である。その中で、「商品を買うときに、広告に騙されそうになったことがある」と答えた生徒が60%であり、「ネットで買い物をした時に思っていたものと違う時がある」と答えた生徒が70%であった。

(3)

・ **教科書教材による見方・考え方の習得**

本教材では、多くの具体と抽象が文章内で扱われている。本来、具体は生徒にとっては分かりやすいものであるが、それらは筆者の主張や伝えたいことを導くための根拠である。具体だけを読むのではなく、それらがどのように抽象とつながるか文章の構造を捉えさせたい。その際に、接続語の言葉等に注目して考え、生徒にとって分かりづらい具体と抽象という概念をより身近なところにもあるということを知ってもらうために、分かりやすい例をまず扱いたい。生徒が困った際には、身近な例に戻り確認できるようにしたい。

・ **教科書外の自作広告を使用しての活用**

教科書外の活用教材として、「歯を白くする」自作広告を扱う。生徒が生活の中でよく目にする広告を扱い、学習したことが生活の中でも生きて働くことを目指す。広告には、たくさんの商品に関する情報が掲載されている。それは本教材でいう具体であると考えられる。しかし、抽象（ここでは広告を作った人の意図）は明確に書かれていない。書いてある情報だけを鵜呑みにし、思っていた商品と違ったり、自らの実態にはあっていなかったりするような商品を購入してしまうことが多い。そこで習得した「具体・抽象」を使い、制作した意図を具体から導き目的に沿った広告を選ぶようにする。

・ **生徒が主体的に参加できるための工夫**

学力に不安がある生徒も、主体的に学習に取り組めるようにするために、広告を選ぶときに信条を設定する。良い広告を選ぶのではなく、会社のそれぞれの目的にあった広告を選ぶことで、視点が明確になり選びやすくなる。

また、授業後に生徒が「何を学習したのか」というのが明確になるように、「見方・考え方カード」を黒板に提示しておく。生徒の話し合いの方向性がずれた際には「見方・考え方カード」に立ち返り、論点を見直すようにする。

3 単元の目標

- ・ 具体と抽象の関係性の分類を通して、文章構造について理解することができる。

【知識・技能】

- ・ 文章の構造を捉えて、その内容に対して意見をもつことができる。

【思考・判断・表現】

- ・ 言葉が持つ価値に気付くとともに、具体と抽象に注目して読み、我が国の言語文化を大切に思いや考えを伝え合おうとする。

【主体的に学習に取り組む態度】

4 単元の評価基準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
具体的な表現と抽象的な表現の関係性の分類を通して、文章構造について説明しようとしている。	「読むこと」において、文章の構造を捉え、その内容について意見をもっている。	積極的に文章を読み、意見を持つとともに学習の見通しをもって文章構造を説明しようとしている。

5 単元の学習指導計画（全5時間）

時	習得活用	目標	学習内容・学習活動
1		<ul style="list-style-type: none"> 全文を通読して、内容を大まかにつかみ、文章の構成を捉えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「ニュースの見方を考えよう」を通読し、内容を知る。 初発の感想を書く。
2	習得	<ul style="list-style-type: none"> 身近な例を通して、具体と抽象とは何かを知ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> たくさんの例を示し、具体と抽象に分けその関係性を知る。
3 4	習得	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の文章を読み、具体例の提示の内容（編集・判断・加工・演出等）を捉えることができる。 具体例が主張にどのような影響を与えているのかを考え構造を捉えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書に提示されている具体例が表していることと、それを表している抽象的な表現の関連付けを行う。
5（本時）	活用	<ul style="list-style-type: none"> 3つの自作広告の中から、具体例の具体と抽象に注目して目的に沿った広告を選ぶことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 会社の重役として、広告の中に提示された具体例から伝わることを見出させ、採用したい広告を選ぶ。

6 本時の学習指導

(1) 目標

- ・ 広告文の構造を捉え、その内容について意見をもつことができる。

(思考・判断・表現)

(2) 学習指導過程

学習内容・学習活動	予想される生徒の反応	教師の支援
1 「ニュースの見方を考えよう」で学習したことを振り返る。	・ 池上さんの文章の具体例について考えたな。具体例が抽象的な考えと対応していて根拠になっていたな。	・ 具体と抽象の構造を簡単なシートで振り返る。 ・ 興味がもてるように3つの広告を提示する。
2 学習課題をつかむ。	【学習課題】 西山会社の重役として、一番採用したい広告はどれか。	
3 採用したい広告はどれか考える。 (1) 個人で広告の意図を想像する。 (2) 班で設定された信条をもとにどの広告を選ぶか話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ この広告は、歯をどのように見せたいかという表現が中心になっているな。 ・ 数字を使って、お金の提示が目立つな。 ・ 口コミの言葉があって、健康に重きをおいている広告だな。 ・ 具体例の順番が、信条にそぐわないな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒が視点をもって選びやすいように、信条を設定し、生徒に示す。 ・ 理由の中で、これまでに習得した読みの力を活用できているものを積極的に取り上げる。 ・ 考えるのが難しい生徒には、「ニュースの見方を考えよう」で考えたことを参考にしよう助言する。
4 最終採用広告を決定する。 (1) グループで発表する。 (2) 教師の考えを聞く。	<ul style="list-style-type: none"> ・ たくさんの意見を聞き、私たちの会社の信条にあうのは、Bの広告だ。 ・ 使用する具体例によって意図が違って、おもしろいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出てきた意見を踏まえ、具体例に注目して、最終決定するようにする。 ・ これまでの学習を踏まえて考えるよう指示する。
5 本時の学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 具体的な内容が抽象的な意図を見出すということは難しいけど、身近な生活に役に立ちそうだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活用した読みの力の価値づけを行う。

(3) 本時の評価

- ・ 広告文に表される具体的な内容から推測される意図について意見をもつことができたか。

(思考・判断・表現)